

目標達成計画

作成日: 平成 30年 11月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	障害者施設への行事(収穫祭、新茶祭など)への参加はできているが、利用者の方の高齢化に伴い外出回数減っている。地域周辺との交流もできていないので今後ボランティアなどの協力も得られるような体制作りをしたい。	地域交流について職員間で話し合い、今後できる事から取り組めるようにする。	①今まで、できている障害者施設への行事参加は継続する。 ②職員間でボランティアに来て頂けそうな方達に声をかけ職員全員で協力し受け入れ体制を整える。	12ヶ月
2	48	○役割、楽しみごとの支援 現在も一人一人のできる事を把握しながら、役割を持ってもらい生きがいに繋がるよう支援している。今後も楽しみごとが増え笑顔で過ごして頂けるよう取り組めるよう継続したい。	一人一人できる事を職員全員で把握し、できることを増やしていけるよう取り組む。	①一日の流れの中で入居者の方と個別に取り組める時間を持ち、入居者のしたいこと、楽しみごとを増やせるようにする ②できる家事を職員と一緒に取り組むようにする。	12ヶ月
3				③帰宅願望や不穏になられる入居者もおられるので散歩に出かけたり、話の傾聴を行い気分転換に努める。	ヶ月
4	35	○災害対策について 年2回の避難訓練は実施しているが、夜間想定訓練や地域の方の協力を得るまでには至っていない現状であるが、職員一人一人が災害についての危機感をもち、真摯に取り組むようにする。	防災グッズを日頃から準備する。	①日頃より入居者の方の所在確認を行うとともに避難経路の確認、危険個所の確認を行う。 ②災害時、避難時の備蓄品の確保 ③施設の住所、電話番号を言えるよう、申し送り時に復唱する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。